

アトピー性皮膚炎

1. アトピー性皮膚炎とは

かゆみのある湿疹（赤い、ぶつぶつができる、ざらざらする、皮膚が厚くなるなど）＝炎症が慢性的によくなったり、悪くなったりを繰り返す病気です。

※慢性的：1歳未満では2か月以上、1歳以上では6か月以上続いている状態

かゆみにより、睡眠障害が起こり、成長が障害されたり、日中の集中力にも影響し、学習などに支障をきたしたりすることがあります。また、アレルギーマーチと言って、アトピー性皮膚炎が悪いままだと、大きくなるにつれて、食物アレルギーや気管支喘息、アレルギー性鼻炎といった他のアレルギー症状がでることがあります。

2. 対策

① 薬物療法

湿疹をよくするには、ステロイドをはじめとした塗り薬が基本の治療です。ただ塗るだけでなく、適切な量を適切な期間塗る必要があります。また、炎症を抑える飲み薬や注射薬など、近年様々な治療法が開発されているので、それぞれの患者様の症状に合わせ、治療を組み合わせて治療を行います。

② スキンケア

いい皮膚の状態を保つ、悪い状態から戻すためには、皮膚をきれいな状態に保つことが大切です。入浴で全身を洗う、洗った後はしっかり保湿をすることで、いい状態を保ちやすくなります。洗うときは、よく泡立てた泡で優しく、くまなく洗い、その後は乾燥しないように保湿剤を使いましょう。

③ 悪化因子の対策

汗、ほこり、カビ、ペット、花粉、ストレス、食事バランス、乾燥など様々な要因で皮膚の状態が悪くなることがあります。一つの要因ではなく、複数の原因が重なっていることも多いですが、掃除や規則正しい生活を心がけましょう。

●当院でできること●

重症度や、塗り薬・保湿剤の使用感の好みなども考えながら、それぞれの患者様にあった治療法を提案していきます。重症な場合は、入院での治療を行うこともあります。